

観察会報告
街の化石と駿府城公園の自然観察会
横山謙二



市街地を歩きながら、建物の石材を観察する様子

12月9日、街の化石と駿府城公園の自然観察会を行いました。この観察会は、JR静岡駅から駿府城までのコースで、案内者の柴さんに、各ポイントで解説してもらいながら観察してきました。

以前もこの観察会を行いました。静岡駅内のアンモナイトやカハイセキが含まれた大理石がなくなるなど、あちらこちらで、化石が含まれる石材がなくなりつつあり、見どころが少なくなってきました。だからというわけではないと思いますが、今回の観察会では、化石を含まない石材をじっくり見たような気がします。

駅内では、柱に使われている石材の深成岩の花崗岩、駅前では斑レイ岩を見ました。建物の石材は、長持ちするよう硬い深成岩類を使っていることが多いようです。

駅からはなれ、紺屋町の浮月楼にやってきました。ここは、アンモナイトや厚歯二枚貝などの化石が含まれる大理石が外壁に使われています。観察会の参加者は、アンモナイトを探すなど楽しそうに観察していました。その後、その近くの建物で、トラバーチンと変質した大理石を見学し、呉服町通りをわたり、本田眼科のストロマトライトを観察しました。このストロマトライトは、藍藻類がつくったものです。

呉服町通りに戻り、ところどころで、使用されているラパキビ花崗岩や大理石、蛇紋岩などを見学しながら、ランドマーク呉服町ビルでは厚歯二枚貝を、少し離れたところの伊勢丹の石灰岩の外壁で貝類や石灰藻の化石を観察しました。

次に静岡市役所に向かいました。

静岡市役所旧庁舎入口には、沖縄の琉球石灰岩が使用されていて、貝類やサンゴ片などの化石を多く含んでいます。広い空間に琉球石灰岩が使われているので、壁を巡りながら、いろいろな化石を探す

のが楽しいところなのですが、残念ながらこの日は、市民ギャラリーが休館で入ることができませんでした。

その後、県庁前交差点をわたり、二の丸橋より、駿府城公園に入りました。駿府城公園では三葉の松など、清さんの植物解説を聞きながら、駿府城天守閣発掘現場の見学にむかいました。

発掘現場では、豊臣秀吉が造らせた石垣と徳川家康が造らせた石垣の2つが見られます。これまで、街中で石材ばかりを見てきたせいか、石垣の石が何でできているのかが気になります。見た目では、秀吉が造らせたと言われる天守石垣の石は、角がなく、茶褐色をした岩石が多いようです。対して家康が造らせたと言われる石垣は、加工され緻密に積まれており、茶褐色をした岩石のほか、緑色をおびた岩石などいろいろな岩石も混ざっているようです。観察会解散後、この石垣の石が見られるところに行き、案内者の柴さんと観察してみたところ、茶褐色をした岩石は砂岩で、柴さんの話では、この城から近いところから運ばれてきたもので、緑色おびた岩石は、凝灰角礫岩で、これは駿府城周辺の岩石ではなく、伊豆などから運ばれてきたのでは？とのことでした。その他に、玄武岩などの火山岩類もありました。